

10:25～

開会式

10:30～11:30 オープニングセッション

患者さんと共に歩むアトピー性皮膚炎治療

座長：小澤 麻紀（東北大学 / 東照宮駅前皮膚科クリニック）

加納 宏行（岐阜市民病院皮膚科）

OS-1 患者さんの治療満足度を向上させるためのキーポイント

中原 剛士

九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野

OS-2 AIと患者共有情報が拓く新たな診療アプローチ：
医師評価とPROをつなぐアトピー性皮膚炎リアルワールド解析

足立 剛也

慶應義塾大学医学部皮膚科学

パネルディスカッション

司会：加納 宏行

パネリスト：

中原 剛士、足立 剛也、小澤 麻紀

共催：アッヴィ合同会社

11:40～12:30 ランチョンセミナー1

アトピー性皮膚炎における皮膚バリアを考える

座長：秀 道広（地方独立行政法人広島市立病院機構）

山中 恵一（三重大学大学院医学系研究科 皮膚科学）

LS1-1 アトピー性皮膚炎における皮膚バリアの意義を考える

波多野 豊

大分大学医学部皮膚科学講座

LS1-2 アトピー性皮膚炎治療におけるバイタマーの導入と併用戦略

辻 学

九州大学病院 皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター

共催：鳥居薬品株式会社

小児アトピー性皮膚炎の治療を再考する

座長：澄川 靖之（すみかわ皮膚科アレルギークリニック）

井川 健（獨協医科大学医学部 皮膚科学講座）

キーノートレクチャー

小児アトピー性皮膚炎治療のアンメットニーズ

小澤 麻紀

東照宮駅前皮膚科クリニック

東北大学大学院医学系研究科皮膚科学分野

SSY1-1 小児 AD の適切な治療介入～目指すべきゴール～

馬場 直子

神奈川県立こども医療センター

SSY1-2 学童期・思春期アトピー性皮膚炎患者に対する自立支援の実際とその意義

福家 辰樹

国立成育医療研究センターアレルギーセンター

ディスカッションパート

テーマ：小児アトピー性皮膚炎を治しきるには

座長：小澤 麻紀

ディスカッサント：

井川 健、澄川 靖之、馬場 直子、福家 辰樹

共催：サノフィ株式会社／リジェネロン・ジャパン株式会社

座長：茂木精一郎（群馬大学皮膚科）

福本 毅（京都府立医科大学皮膚科）

O-001 15th Georg RAJKA International Symposium on Atopic Dermatitis (ISAD)：2025.10 メルボルン に参加して

片岡 葉子

大阪はびきの医療センター 皮膚科

- O-002** レセプトデータからみるアトピー性皮膚炎における全身療法に併用する外用薬量の検討
金子 栄^{1,2)}、加藤 則人²⁾、片岡 葉子²⁾、中原 剛士²⁾、加納 宏行²⁾、澄川 靖之²⁾、田中 暁生²⁾、小澤 麻紀²⁾、渡部 裕子²⁾、室田 浩之²⁾、波多野 豊²⁾
¹⁾ 益田赤十字病院 皮膚科
²⁾ 皮膚免疫アレルギー学会アトピー性皮膚炎部会
- O-003** アトピー性皮膚炎モデルマウスの皮膚浸潤リンパ球の解析から見てきたもの
西村 真衣¹⁾、今井 康友²⁾、松島 由明¹⁾、山中 恵一¹⁾
¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科 炎症性皮膚疾患研究センター
²⁾ 野田阪神駅前いまい皮フ科小児皮フ科アレルギー科
- O-004** アトピー性皮膚炎に於ける IL-36 α の役割—動物研究から見てきたもの—
市川 彩夏¹⁾、西村 真衣¹⁾、今井 康友²⁾、松島 由明¹⁾、山中 恵一¹⁾
¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科 皮膚科学
²⁾ いまい皮フ科小児皮フ科アレルギー科
- O-005** アトピー性皮膚炎における湿度感受性と悪化季節パターンの多層解析
本田 理恵^{1,2)}、伊東 可寛¹⁾、野村 彩乃¹⁾、大場 純奈³⁾、石川 哲朗³⁾、天谷 雅行¹⁾、川崎 洋¹⁾
¹⁾ 慶應義塾大学医学部皮膚科
²⁾ 日立製作所日立総合病院皮膚科
³⁾ 慶應義塾大学医学部石井・石橋記念講座（拡張知能医学）
- O-006** 自発報告有害事象データベースを用いた皮膚疾患治療薬における CTCL の安全性シグナルの検証
藤田 英樹¹⁾、大家 義登²⁾、西尾 幸博³⁾
¹⁾ 日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野
²⁾ 協和キリン メディカルアフェアーズ部 HEOR/RWE グループ
³⁾ 協和キリン メディカルアフェアーズ部 がん領域グループ
- O-007** アトピー性皮膚炎を伴う多発疣贅に対してイミキモド外用が著効した1例
渡邊 遥、松本 智子、田中 暁生
広島大学大学院 医系科学研究科皮膚科学

16:00～16:50 **スイーツセミナー**

鑑別診断：高齢者アトピー

座長：加納 宏行（岐阜市民病院皮膚科）
片山 一郎（中津皮膚科クリニック）

SW-1 高齢者紅皮症の病態と医療実態

磯貝 善蔵
国立長寿医療研究センター皮膚科

**SW-2 アトピー性皮膚炎に対する生物学的製剤の現状と展望
～高齢者症例からみるトラロキヌマブの可能性～**

佐藤 絵美
福岡大学医学部 皮膚科学教室

共催：レオファーマ株式会社

17:00～17:50 **イブニングセミナー**

アトピー性皮膚炎全身療法の Up to date

座長：上出 良一（ひふのクリニック人形町）
加藤 則人（京都府立医科大学）

ES-1 アトピー性皮膚炎診療における患者コミュニケーション・患者心理

片桐 一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

ES-2 レブリキズマブによるアトピー性皮膚炎治療の新展開

大塚 篤司
近畿大学医学部 皮膚科学教室

共催：日本イーライリリー株式会社

18:00～18:50 **本音を語る会（現地のみ）**

司会：加納 宏行（岐阜市民病院皮膚科）
小澤 麻紀（東北大学 / 東照宮駅前皮膚科クリニック）

パネリスト：

井川 健（獨協医科大学医学部 皮膚科学講座）
片岡 葉子（大阪はびきの医療センター 皮膚科）
金子 栄（益田赤十字病院 皮膚科）
澄川 靖之（すみかわ皮膚科アレルギークリニック）
田中 暁生（広島大学大学院 医系科学研究科 皮膚科学）
中原 剛士（九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野）
山中 恵一（三重大学大学院医学系研究科 皮膚科学）

8:00～8:50 モーニングセミナー

Bio/JAKi Naïve 患者さんへサイバインコという選択肢

座長：矢上 晶子（藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科）

天野 博雄（岩手医科大学 皮膚科学講座）

MS-1 接触皮膚炎

中田土起丈

昭和医科大学藤が丘病院 皮膚科

MS-2 アトピー性皮膚炎の鑑別診断とサイトカインプロファイルに基づく治療選択

中島沙恵子

京都大学大学院医学研究科・炎症性皮膚疾患創薬講座

共催：ファイザー株式会社

9:00～9:50 一般演題 2

座長：中村晃一郎（埼玉医科大学病院 皮膚科）

清水 良輔（皮ふ科 しみずクリニック）

O-008 生体肝移植後のアトピー性皮膚炎に対して Dupilumab を投与した1例

森戸千賀子、井岡奈津江、水谷 浩美、服部 淳子、
益田 浩司、福本 毅

京都府立医科大学大学院医学研究科 皮膚科学

O-009 デュピルマブによる治療中に結節性紅斑と関節炎を生じたアトピー性皮膚炎の1例

永井 美貴¹⁾、福井ちひろ¹⁾、後藤 祐介¹⁾、阪下 達哉²⁾

¹⁾ 岐阜県総合医療センター 皮膚科

²⁾ 岐阜県総合医療センター 小児科

O-010 アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブ治療中に乾癬が顕在化した1例

吉川 桃子¹⁾、澄川 靖之¹⁾、鎌田 麻子²⁾

¹⁾ すみかわ皮膚科アレルギークリニック

²⁾ 砂川市立病院

- O-011** 尋常性乾癬を合併したアトピー性皮膚炎の2例
平塚進太郎、野老 翔雲、林 周次郎、井川 健
獨協医科大学皮膚科学教室
- O-012** 当院におけるタピナロフクリーム使用の現状
佐野 友佑、本田 哲也
浜松医科大学皮膚科
- O-013** タピナロフ外用によると考えられるリール黒皮症様の色素沈着を生じた症例
清水 良輔
皮ふ科しみずクリニック

9:50～10:50 **一般演題 3**

座長：浅井 俊弥（浅井皮膚科クリニック）
川崎 洋（慶應義塾大学医学部皮膚科）

- O-014** 抗IL-13抗体製剤が効果的であったアトピー性皮膚炎の2症例
金田 海弘¹⁾、山村 和彦²⁾、辻 学²⁾、冬野 洋子²⁾、
中原 剛士²⁾
¹⁾ 製鉄記念八幡病院 皮膚科
²⁾ 九州大学医学部 皮膚科学教室
- O-015** 長崎大学病院におけるアトピー性皮膚炎に対するトラロキヌマブの使用経験のまとめ
竹中 基、服部 尚子、松本 舞、小池 雄太、
室田 浩之
長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科
- O-016** アトピー性皮膚炎と栄養療法
栗木 安弘
甲子園栗木皮膚科クリニック
- O-017** 外用アドヒアランスの向上が症状改善につながったアトピー性皮膚炎の3例
高橋 隼也¹⁾、小澤 麻紀^{1,2)}、天貝まゆ子¹⁾、千葉 倫子¹⁾、
浅野 善英¹⁾
¹⁾ 東北大学大学院医学系研究科 神経・感覚器病態学講座 皮膚科学分野
²⁾ 東照宮駅前皮ふ科クリニック

O-018 Therapeutic education によって外用療法のみで寛解維持を達成した最重症成人アトピー性皮膚炎（AD）の2例

別所 史健、片岡 葉子、木村 優香、佐藤 佳代、
上角 祐人、松尾 有華
大阪はびきの医療センター

O-019 重症アトピー性皮膚炎に対する入院下ステロイド外用治療による寛解導入の検討

鳥羽 有紀、井上 剛、天野 博雄
岩手医科大学 皮膚科学講座

O-020 小児アトピー性皮膚炎紹介例における外用単独到達率と全身療法導入：紹介例 72 例の検討

広瀬 晴奈、波多野 豊
大分大学医学部皮膚科学講座

11:00～11:50 **ランチョンセミナー 2**

見えない“かゆみ”をどう診るか～評価と対策の多面的アプローチ～

座長：金子 栄（益田赤十字病院 皮膚科）
本田 哲也（浜松医科大学 皮膚科学講座）

LS2-1 アトピー性皮膚炎の疾病負荷と心身医学的アプローチ

堀 仁子
市立旭川病院 皮膚科

LS2-2 かゆみから考えるアトピー性皮膚炎治療の課題と展望

石氏 陽三
東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座

共催：マルホ株式会社

12:00～14:00 **スポンサードシンポジウム 2**

今だからこそ、アトピー性皮膚炎の外用療法を再考する
～標準化できること・個別化すべきこと～

座長：室田 浩之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 皮膚病態学）
片岡 葉子（大阪はびきの医療センター 皮膚科）

SSY2-1 アトピー性皮膚炎の治療ゴール達成のために必要なポイント

田中 暁生
広島大学大学院 医系科学研究科 皮膚科学

SSY2-2 ADGL で示しきれない個別化による外用療法の最大化

広瀬 晴奈

大分大学医学部皮膚科学講座

ディスカッションパート

テーマ：シームレスに長期寛解維持を達成するための課題

司会：加納 宏行（岐阜市民病院 皮膚科）

小澤 麻紀（東照宮駅前皮膚科クリニック / 東北大学）

ディスカッサント：

渡辺 朋美（渡辺皮膚科・形成外科クリニック）

室田 浩之、田中 暁生、片岡 葉子、広瀬 晴奈

共催：大塚製薬株式会社

14:10～14:30 **クロージングセッション・次期会頭挨拶**